

事業評価書

補助事業名	小型動力ポンプ購入					
補助事業者名	うるま市					
実施場所	うるま市石川地内					
補助事業の成果の目標	<p>山林原野や狭隘地区など、ポンプ車が進入不可能な場所における火災発生時には、遠距離送水が不可欠であり、小型動力ポンプは、中継ポンプとして重要な役割を担う。</p> <p>石川消防署に配置されている小型動力ポンプについては、老朽化によるポンプの腐食が進み現在修善不可能となっており、災害発生時の消火活動に支障を来すおそれがある。</p> <p>このことから、本事業により新たに整備することで、適切な消火活動ができる環境の維持を図る。</p>					
補助事業の内容	小型動力ポンプ購入					
補助事業の始期及び終期	令和元年度					
事業費及び交付金額		令和元年度				計
		円	円	円	円	円
	事業費	5,390,000				5,390,000
	交付金額	4,800,000				4,800,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価について】</p> <p>年間の訓練12回、実災害出動2回、故障等不具合及び修理状況0件。故障不具合もなく安定した運用が可能となったことから、本事業の成果を得られたと評価する。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】</p> <p>地域住民への理解を図るため、特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を以下のように周知。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 市ホームページへ掲載済</li> <li>2) うるま市広報誌への掲載済</li> <li>3) 資器材へ「令和元年度 沖縄防衛局 調整交付金事業」と表示済</li> </ol>					
事業の改善措置及び今後の対応	今後も安定した効率的な消防力を維持出来るよう、機械器具の点検等を定期的に変更し、計画的に整備を図る。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無し					

事業評価書

補助事業名	ロープレスキュー資器材購入						
補助事業者名	うるま市						
実施場所	うるま市具志川地内						
補助事業の成果の目標	<p>本市では、多種多様化した災害に柔軟に対応すべく、ロープレスキューを平成18年度より整備、運用している。</p> <p>現在使用している資器材については、上げ下げ救助などの基本的な活動に限定されたものであり、また整備後13年が経過し経年劣化による破損や老朽化が散見され、災害発生時の救助活動に支障を来す恐れがある。</p> <p>このことから、本事業により当該資器材を追加配備することで、適切な救助活動ができる環境の維持を図る。</p> <p>【参考指標】 年間訓練回数：16件（ロープレスキュー訓練）</p>						
補助事業の内容	ロープレスキュー資器材購入						
補助事業の始期及び終期	令和元年度						
事業費及び交付金額		令和元年度					計
		円	円	円	円	円	円
	事業費	5,672,700					5,672,700
	交付金額	5,100,000					5,100,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価について】 年間の訓練46回、故障等不具合及び修理状況0件。 故障不具合もなく安定した運用が可能となったことから、本事業の成果を得られたと評価する。</p> <p>【地域住民への周知の実施状況】 地域住民への理解を図るため、特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を以下のように周知。 1) 市ホームページへ掲載済 2) うるま市広報誌への掲載済 3) 資器材へ「令和元年度 沖縄防衛局 調整交付金事業」と表示済</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も安定した効率的な消防力を維持出来るよう、機械器具の点検等を定期的に変更し、計画的に整備を図る。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無し						

事業評価書

補助事業名	南原漁港巻揚機械購入						
補助事業者名	うるま市長						
実施場所	うるま市 勝連南風原地内						
補助事業の成果の目標	うるま市勝連南風原地内に所在する南原漁港の漁船等について、定期点検時や台風等の異常気象時には、巻揚機による陸揚げを行う事で、漁船の維持管理及び災害による破損を回避し、安定的な漁業経営を確保してきた。しかし、現在の巻揚機は設置後20年以上が経過し、老朽化による作業効率の低下や不具合が生じている状態である。このことから、漁業者が安全・円滑に利用できる漁業環境を整え、漁業活動の推進に寄与するものである。 (参考指標)年あたり不具合発生件数 0件						
補助事業の内容	備品購入 巻揚機:2基						
補助事業の始期及び終期	令和元年度						
事業費及び交付金額		令和元年度					計
	事業費	6,237,000					6,237,000
	交付金額	5,500,000					5,500,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	1年間の利用実績を調査した結果、不具合もなく安定的な利用状況を確認できたため、成果目標である安全・円滑な漁業活動の推進に寄与できたと評価する。 【関係住民への周知】 1)市ホームページ及び広報誌に掲載済 2)巻揚機に「令和元年度 沖縄防衛局 調整交付金事業」と記載したシールを貼付済						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も定期的に点検・修繕を行い、適切な管理を行う。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無し						

事業評価書

補助事業名	平敷屋小学校防球ネット等整備工事						
補助事業者名	うるま市長						
実施場所	うるま市勝連平敷屋地内						
補助事業の成果の目標	うるま市立平敷屋小学校には現在、防球ネットが設置されておらず、またバックネットも10年以上前に地域の市民により建てられたもので、支柱等の塩害による腐食や老朽化がすすんでいる。本校から早急に整備してほしい旨の強い要望も出ている。このことから、本事業を実施することにより、安全な教育環境の向上を図り、児童生徒の屋外における体育や、学校行事等を円滑に行うことができる。						
補助事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防球ネット(L=104m)</li> <li>・バックネット 一式</li> </ul>						
補助事業の始期及び終期	令和元年度						
事業費及び交付金額		令和元年度					計
	事業費	円 15,455,000	円	円	円	円	円 15,455,000
	交付金額	円 13,261,000					円 13,261,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 本事業により児童の屋外授業及びクラブ活動が円滑に行えるようになり、安心・安全な教育環境の向上が図られた。さらには、周辺居住地の快適な生活環境も確保された。 アンケート調査では、特に屋外授業やクラブ活動等での安全性が向上したと評価された。</p> <p>【地域住民への周知の状況】 地域住民に対し、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金により実施されている旨を以下の方法により周知した。 ・市ホームページ及び広報誌へ掲載</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	防球ネットが整備されていない学校については、学校からの要望、必要性に応じて段階的に整備を図る。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	あげな小学校防球ネット等整備工事						
補助事業者名	うるま市長						
実施場所	うるま市字西原地内						
補助事業の成果の目標	うるま市立あげな小学校には現在、防球ネットが設置されておらず、またバックネットも10年以上前に地域の市民により建てられたもので、支柱等の塩害による腐食や老朽化がすすんでいる。本校から早急に整備してほしい旨の強い要望も出ている。このことから、本事業を実施することにより、安全な教育環境の向上を図り、児童生徒の屋外における体育や、学校行事等を円滑に行うことができる。						
補助事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防球ネット(L=107.48m)</li> <li>・バックネット 一式</li> </ul>						
補助事業の始期及び終期	令和元年度						
事業費及び交付金額		令和元年度					計
	事業費	円 14,397,900	円	円	円	円	円 14,397,900
	交付金額	12,214,000					12,214,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>【補助事業の成果及び評価】 本事業により児童の屋外授業及びクラブ活動が円滑に行えるようになり、安心・安全な教育環境の向上が図られた。さらには、周辺居住地の快適な生活環境も確保された。 アンケート調査でも、児童の教育環境が向上したと評価された。</p> <p>【地域住民への周知の状況】 地域住民に対し、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金により実施されている旨を以下の方法により周知した。 ・市ホームページ及び広報誌へ掲載</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	防球ネットが整備されていない学校については、学校からの要望、必要性に応じて段階的に整備を図る。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	救急用資器材購入						
補助事業者名	うるま市長						
実施場所	うるま市字大田地内						
補助事業の成果の目標	<p>うるま市では現在救急車6台を配備運用し救急要請に対応しているが、救急件数は増加傾向にあり二次、三次と同時出動する事も少なくない。同一の管轄区域で複数の同時救急要請があれば、他署から出動する事になり到着まで時間がかかるため、直近の署に勤務する職員が現場へ向かい応急的な対応にあたる。現在保有する救急初期対応セットは昨年整備した一式を除き、経年使用により資器材が傷んできており、意図せぬ破損等により有事の際に安定した使用ができなくなる可能性がある。</p> <p>また、当消防本部の救急車以外の車両には積載用AEDがなく、帰署途上などに遭遇した心肺停止事案等への初期対応に不安がある。このことから救急用資器材一式を整備することで、安定した救急初期対応を実施できる環境を維持し救命率の向上を図る。</p> <p><b>【参考指標】</b> 年間使用回数：12回      年間不具合件数：0件</p>						
補助事業の内容	<p>（救急初期対応セット（3式） 車載用AED（10台）</p>						
補助事業の始期及び終期	令和元年度						
事業費及び交付金額		令和元年度					計
		円	円	円	円	円	円
	事業費	2,596,000					2,596,000
	交付金額	2,590,000					2,590,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p><b>【補助事業の成果及び評価について】</b> ・年間使用実績：（救急初期対応セット71回/車載用AED 0回/493回出動） ・年間不具合件数：0回 資器材の不具合等の不安がなく、安定した運用が可能となったことから本事業の成果が得られたと評価する。</p> <p><b>【地域住民への周知の実施状況】</b> 地域住民への理解を図るため、特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を以下のように周知。 1) 市ホームページへ掲載済 2) うるま市広報誌への掲載済（令和2年6月発刊） 3) 資器材へ「令和元年度 沖縄防衛局 調整交付金事業」と表示済</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も安定した効率的な救急業務を維持出来るよう、地域住民の理解を得ながら事業を実施する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無し						